

Deals from PwC

Drive your growth. Secure your future.

世界の自動車業界 2019年第1四半期のM&Aに関するインサイト

エグゼクティブサマリー

2019年第1四半期のM&Aは、取引金額ベースで155億米ドルとなり、前年第1四半期比43%、同第4四半期比56%それぞれ低下した。2018年には記録的な大型案件20件が過去最高の取引金額を牽引したが、2019年の幕開けとなる第1四半期には大型案件は1件のみであった。公表取引件数は、前年第1四半期比30%、同第4四半期比18%それぞれ減少し、2017年第2四半期以来最低となる201件となった。第1四半期が低調な要因としては、米中貿易摩擦や英国の合意なき離脱問題を含むマクロ要因がある。ただし、大型案件を別にすれば、取引件数は過去の平均から大きく乖離はしておらず、2017年の四半期平均を上回り、200を超える案件数となった。



「2019年の自動車業界のM&Aは、企業が2018年の全案件を消化するため、ゆっくりした出だしとなった。」

—ジェフ・ザレスキー PwC米国オートモーティブ ディールズ パートナー

2019年第1四半期

2019年第1四半期

vs.

2018年第1四半期

2019年第1四半期

vs.

2018年第4四半期

取引金額計

155億米ドル

43%

56%

取引件数計

201件

30%

18%

平均取引金額*

262.2百万米ドル

28%

30%

トレンドとハイライト

- 2019年第1四半期の取引金額は、2018年第1四半期の272億米ドルから43%低下し、155億米ドルとなった。また、前四半期比では、2019年第1四半期の取引金額は56%低下した。
- 2019年第1四半期の取引件数は、2018年第1四半期の287件から30%減少し、201件となった。2018年第4四半期比では、2019年第1四半期の取引件数は18%減少となった。
- 公表平均取引金額2億6200万米ドルは、2018年第1四半期比28%、2018年第4四半期比30%の減少となった。これは、2018年第1四半期には162億米ドル、2018年第4四半期に204億米ドルの大型案件があったのに対し、2019年第1四半期には大型案件が限定的であったことによる。

*平均取引金額は、取引金額が公表されている取引案件の合計金額を、取引金額が公表されている取引数で割って算出している。

2019年第1四半期のハイライト

取引金額・件数の概況

2019年第1四半期の取引金額は、2018年第1四半期比43%、2018年第4四半期比56%それぞれ減少し、155億米ドルとなった。2019年第1四半期の取引件数も、2018年第4四半期比18%減少した。大型案件を除くと、2018年第1四半期比の取引金額は23%減、件数は30%減と減少幅はより緩やかになる。

マクロ経済要因がM&A活動の逆風となり、ディールメーカーは、年初からより慎重なアプローチをとったのかもしれない。しかし、取引のファンダメンタルズは引き続き強く、自動車メーカーとサプライヤーは、景気減速の可能性に備え出費を控える一方で、技術への戦略的な投資には注力を続けている。

取引金額（10億米ドル単位）と件数



最大案件

2019年第1四半期の最大案件は、ZF Friedrichshafen AG がWABCO Holdings Inc.を70億米ドルで買収したことだった。公表された同取引の合意により、車両動的制御、アクティブ・エア・サスペンション・システム、フリート・マネジメント・システムを含む商用車の安全性と効率性に関する両社の能力が組み合わされる。

70億
米ドル



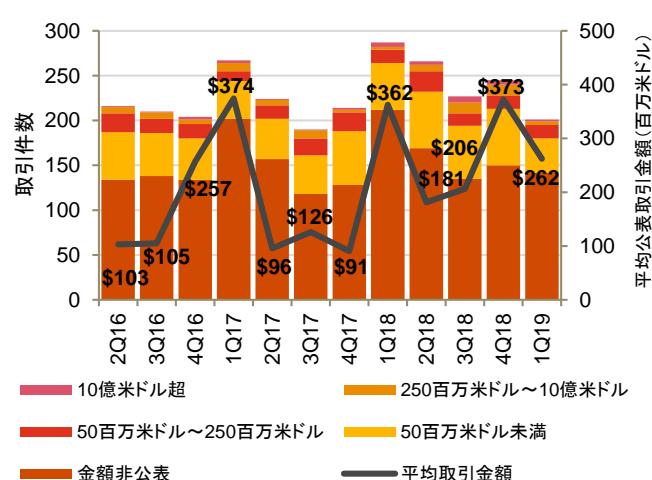
大型案件*

ZF Friedrichshafen AGとWABCO Holdings Inc.間の取引が、2019年第1四半期における唯一の大型案件であった。この大型案件の公表金額は70億米ドルで、取引金額の45%近くを占めた。この取引によって、ZFは世界最大級の商用車向け統合モビリティシステムプロバイダーとなる。

大型案件
1件



公表取引金額別M&A案件



公表取引金額別M&A案件と平均取引金額

2019年第1四半期の平均取引金額は、2018年第4四半期の3億7250万米ドルから30%、2018年第1四半期の3億6250万米ドルから28%それぞれ減少し、2億6220万米ドルとなった。これは、2019年第1四半期の取引金額（155億米ドル）が、2018年第4四半期（354億米ドル）から大幅に減少したことによる。前四半期の取引金額総額には200億米ドル近くの大型案件2件が含まれていたが、2019年第1四半期には70億米ドルの大型案件1件のみであった。

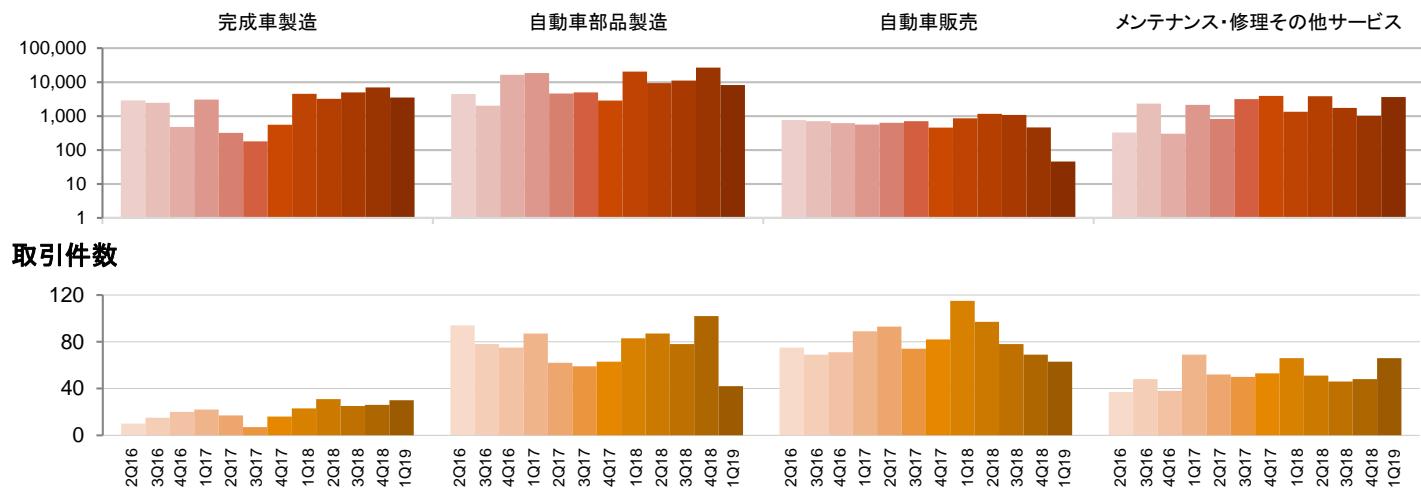
大型案件を除くと、2019年第1四半期の平均取引金額は1億4600万米ドルで、2018年の平均公表取引金額1億6120万米ドルから9%低下しただけであり、2017年の平均公表取引金額1億1300万米ドルを29%上回っている。バリュエーションは、限られたアセットに対するディールメーカーの競争により、高止まっている。

2019年第1四半期のハイライト（続き）

業界カテゴリー別分析

2019年第1四半期において、同四半期唯一の大型案件の影響から、自動車部品カテゴリーが取引金額の53%を占め、完成車製造カテゴリーの23%がそれに続いた。取引件数では、メンテナンス・修理・その他サービスのカテゴリーが33%を占め、自動車販売の31%がそれに続いた。2019年第1四半期において自動車部品カテゴリーが取引金額を牽引したものの、2018年第1四半期比では、同カテゴリーの取引金額は60%の低下となった。

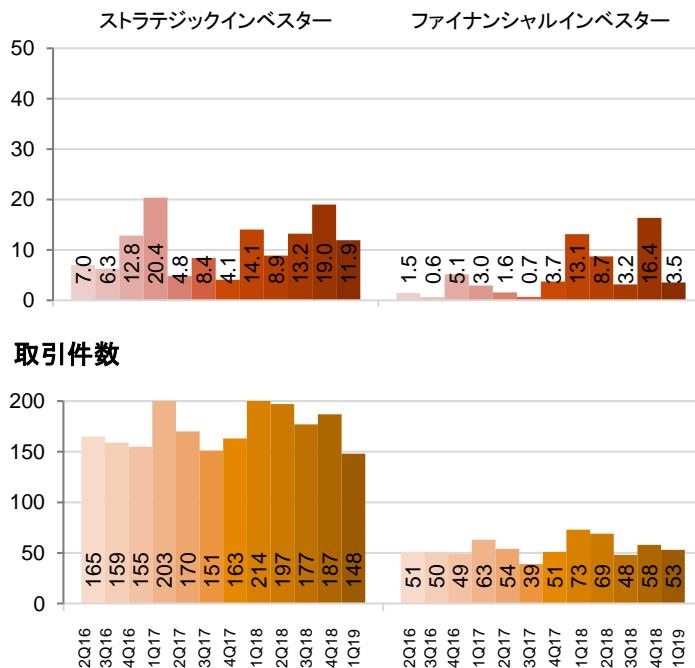
取引金額（百万米ドル）



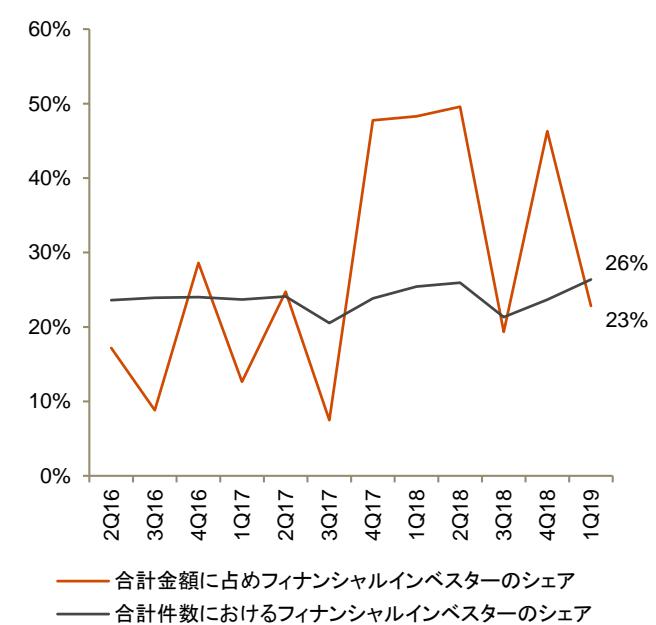
フィナンシャルインベスターとストラテジックインベスター

ストラテジックインベスターが引き続きM&A取引を牽引し、2019年第1四半期における取引金額の77%、取引件数の74%を占めた。ストラテジックインベスターの同四半期における取引は、2018年第1四半期比では金額ベースで15%、取引件数ベースで31%それぞれ減少した。フィナンシャルインベスターも2019年第1四半期には、2018年第1四半期比では、金額ベースで73%、取引件数ベースで27%それぞれ減少した。

取引金額（10億米ドル）



M&Aにおけるフィナンシャルインベスターのシェア

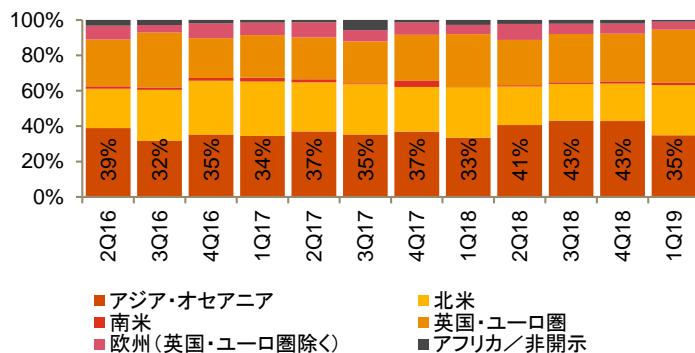


2019年第1四半期地域別取引動向

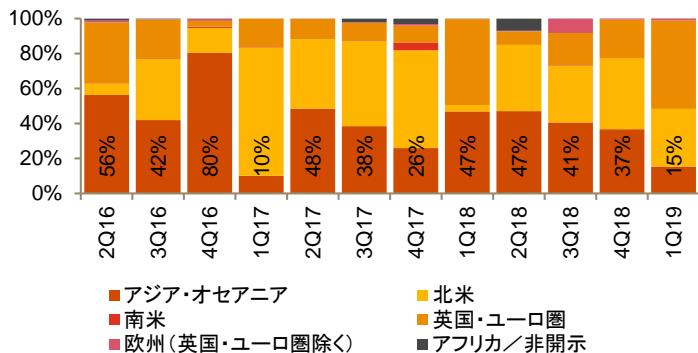
地域別分析

2019年第1四半期は、英国・ユーロ圏の買手企業案件が取引金額の51%を占め、地域として最大となった。それに続いたのは北米地域で、33%を占めた。同四半期の買手企業案件数においては、アジア・オセアニア地域が牽引し、35%を占めた。ターゲット企業別では、北米地域が牽引し、58%を占めた。2019年第1四半期の米国国内案件は、2018年第1四半期比90%低下した一方で、クロスボーダー案件は5.2倍となった。これは上位10案件のうち6件がクロスボーダー案件であったことによる。

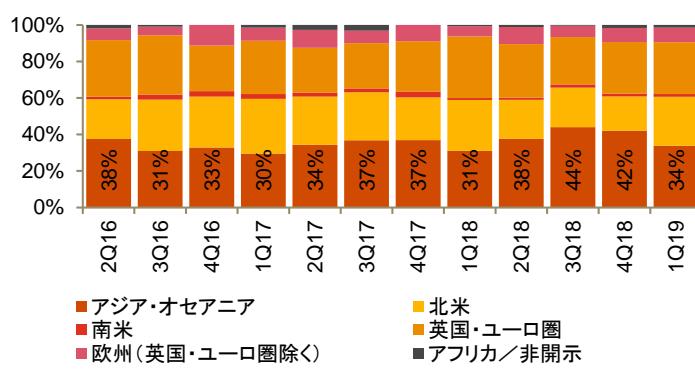
取引件数ベースでの買手企業地域別シェア



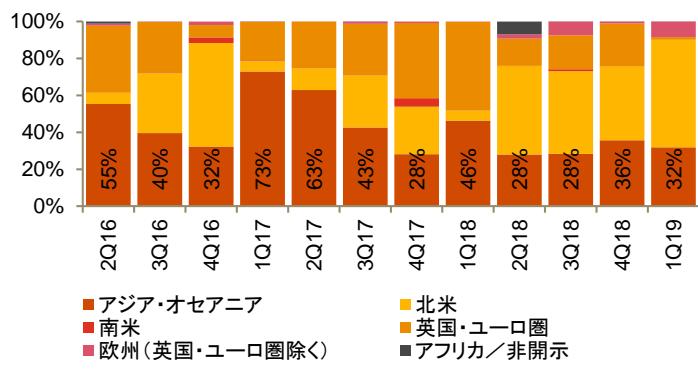
取引金額ベースでの買手企業地域別シェア



取引件数ベースでのターゲット企業地域別シェア



取引金額ベースでのターゲット企業地域別シェア



地域別自動車関連M&A*



*上記の取引金額は公表金額のみ。取引金額非開示（「金額非開示」）は、当該取引の取引金額は開示されていないことを示す。

自動車関連のトップM&A案件（2019年第1四半期と見通し）

発表された主要取引（2019年第1四半期）

発表日	ターゲット企業	所在国	買手企業	所在国	現状	取引金額*	カテゴリー
03/28/19	WABCO Holdings Inc.	米国	ZF Friedrichshafen AG	ドイツ	ペンディング	6,999	自動車部品製造
03/26/19	Careem Networks FZ LLC	アラブ首長国連邦	Uber Technologies Inc.	米国	ペンディング	3,100	メンテナンス・修理その他
02/11/19	Nuro Inc.	米国	SoftBank Vision Fund LP	日本	ペンディング	940	完成車製造
01/15/19	National Electric Vehicle Sweden AB	スウェーデン	Solution King Investments Ltd.	英國領ヴァージン諸島	完了	930	完成車製造
02/15/19	Rivian Automotive Inc.	米国	Investor Group	米国	完了	700	完成車製造
01/22/19	PT Multistrada Arah Sarana Tbk	インドネシア	Compagnie Generale des Etablissements Michelin SCA	フランス	完了	480	自動車部品製造
01/08/19	Qoros Automobile Co. Ltd.	中国	Baoneng Investment Group Co. Ltd.	中国	ペンディング	228	完成車製造
02/03/19	Maxwell Technologies Inc.	米国	Tesla Inc.	米国	ペンディング	218	自動車部品製造
01/29/19	Koenigsegg Automotive AB	スウェーデン	National Electric Vehicle Sweden AB	スウェーデン	完了	171	完成車製造
02/18/19	Aurus OOO	ロシア	Tawazun Holding Co. LLC	アラブ首長国連邦	完了	124	完成車製造

出典：トムソン・ロイター、その他の公表情報*

単位：百万米ドル

自動車業界の見通し

2019年に入り、取引金額および取引件数は、史上最高に達した2018年から低下し、マクロ経済が2019年のM&A活動の逆風としてリスク要因となると想定されるが、私どもは、2019年の残りの期間においてM&A活動を加速させ得る強固なファンダメンタルズと資金があるとみている。

今後については、自動車市場は引き続き、貿易政策の変更と世界的な成長減速による不確実性を抱えている。米国内では、全ての大手完成車メーカーの新車販売が減少しており、2014年以来初めて1700万台を割り込むという予想もある。ローンの不履行やインセンティブ支出が増加しており、アナリストは、今後金利が上昇し消費者マインドが冷え込めば新車の落ち込みがさらに加速するのではないかと懸念している。

世界的には、メーカーとサプライヤーは危機を感じており、景気後退の可能性に備えて経費削減のための戦略的動きをとっている。売上が減少する一方、新技術への投資は増加しており、資金管理と費用効率が経営陣にとって非常に重要な要素となっている。新技術への投資に伴う費用を分担するためにも、さらにより多くの企業がアライアンスや合弁を志向するであろう。

PwCが実施している世界CEO意識調査によると、経営陣は引き続き成長ドライバーとしてのM&Aに注力している。完成車メーカーとサプライヤーは、引き続き非伝統的な企業との競争にさらされる。競争に勝つためには、経営陣はM&Aのパイプラインを見直し、新たなケーパビリティーに投資し、コスト構造を重視し続けなければならない。また、景気後退への準備と戦略的な技術投資のための資金を確保するに際し、経営陣が処分可能なアセットを特定するうえで製品ポートフォリオの戦略的見直しは有効であろう。

お問い合わせ

岡本 徹也

PwCアドバイザリー合同会社
パートナー
オートモーティブセクターリーダー¹
080-1271-7809
tetsuya.okamoto@pwc.com

取引を成功させる企業は、他社が見落としがちな価値を見出す大局観や、不測の事態に対応できる柔軟性、厳しい競争の中でも有利な条件を勝ち取る大胆さに加え、契約が成立した瞬間から直面するさまざまな課題を見出すための慎重さを兼ね備えています。しかし、情報が瞬時に駆け巡るような事業環境の中では、取引を実効性のあるものとするために、経験豊富なアドバイザーに助言を求める企業こそが、真に取引を成功に導くことができます。

PwCのディールプラクティスは、自動車関連企業ならびに自動車関連を重点対象とするプライベートエクイティに対し、M&A関連の幅広い助言サービスを提供します。これには、買収または分割先候補の選定、詳細な買収側デューデリジェンスの実行から、ディール後の利益獲得や、売却、カーブアウト、IPOを通じたディールの出口戦略立案などが含まれます。当社は世界全体で2万人を超えるディール専門スタッフを擁し、貴社のビジネス拠点や取引対象地域がどこであれ、自動車業界に関する豊富なスキルと現地の市場についての知見を兼ね備える最適なチームを展開することができます。

取引には一つとして同じものはありませんが、戦略的M&Aに関する助言やデューデリジェンス、取引のストラクチャリング、M&A関連の税務、買収後の統合、バリュエーション、取引成立後の各種サービスなど、当社の幅広い経験は、多くの場面でお役に立つでしょう。

すなわち、当社は貴社の個別の取引状況に合わせ、それぞれのリスク特性の範囲内で最大の価値を引き出せるよう設計された統合的ソリューションを提供いたします。貴社の目的が買収や合併という投資であれ、IPOまたは私募による資金調達であれ、または資産売却による投資の回収であっても、当社はあらゆる場面で貴社を支援することができます。

世界の自動車業界のM&Aおよび関連サービスについての詳細は
<https://www.pwc.com/us/deals> あるいは<https://www.pwc.com/us>をご覧ください。

日本における、自動車業界のM&Aおよび関連サービスについての詳細は、
<https://www.pwc.com/jp/ja/industries/auto.html> あるいは
<https://www.pwc.com/jp/ja/services/deals/mergers-acquisitions.html>をご覧ください。

データについて

本レポート中の情報は世界の自動車業界のM&Aについての分析です。M&Aの情報はトムソン・ロイターのものを用いており、被買収企業がトムソン・ロイターの区分による自動車産業(Automotive mid-industry)に該当する企業の買収を含んでいます。自動車業界のM&Aに該当しない取引を除外し、SIC(標準産業分類)業種コードから外れた取引を含めるため、一部情報に調整を加えています。

本分析は、2016年4月1日から2019年3月31日の期間に発表された金額が開示されたまたは開示されていない全ての個別の買収、合併、部門売却、レバレッジドバイアウト、民営化、少数株主持分購入、残余持分取得を対象とし、完了、一部完了、進行中、当局承認待ち、完了待ちの取引状況の案件を含みますが、風評や買収要望段階の案件は全て除外しています。また、既存株主への株式配分によるスピンオフ取引はデータに含めています。

パーセントや金額は整数表記されるよう四捨五入しているため、合計すると若干の誤差が生じる場合があります。